

第6回「祖父母と高齢者のための世界祈願日」の祈り（2026年7月26日）

（日本では9月20日*）

聖なる父よ、

あなたはすべての人を見守ってくださいます。

わたしが年老いるときも見守ってください。

あなたはわたしに、キリストのうちにみ名を示され、

わたしの弱さゆえに、わたしを見放されることはありませんでした。

あなたはわたしを、み手の中に優しく抱きしめ、

わたしに刻まれたしわを、いつくしんでくださいます。

あなたはわたしを決してお忘れにはなりません。（イザヤ49・15参照）

わたしが自分の弱さを恐れることがないよう支えてください。

わたしの弱さを愛してくださるように、

自分の弱さを愛することを学ばせてください。

わたしの弱さに耳を傾けてくださるように、

自分の弱さに耳を傾けることを学ばせてください。

全能でありながら、へりくだりを身にまとわれたあなたが、

わたしの弱さをお選びになったように、

自分の弱さを受け入れることができますように。

年を重ねることによって、

わたしたちのおごりと分裂が取り除かれ、

あなたのうちに一つに結ばれて、

これからの^{としつき}年月を生きることができますように。

あなたはわたしたちを決してお忘れにはなりません。（イザヤ49・15参照）

アーメン。

（2026年7月2日 日本カトリック司教協議会常任司教委員会認可）

*2023年7月の第1回臨時司教総会で、日本では9月の「敬老の日」の前日に移動することが承認されました。